



令和4年度 秋田県総合教育センター

総合教育センターだより

第189号

令和4年9月8日発行

〒010-0101 湯上市天王字追分西 29-76

TEL 018-873-7200 (代表)

<https://www.akita-c.ed.jp>

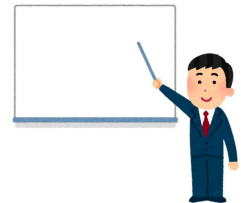
第37回秋田県教育研究発表会 発表者募集中!

秋田県総合教育センターでは、本県教育の振興を目指し、県内の幼稚園・保育所・認定こども園等、各学校、教育機関等における教育研究成果の普及・交流を図るために、「第37回秋田県教育研究発表会」の開催を予定しています。

発表会コンセプト「郷土あきたの教育への提案」

〈期日〉令和5年2月2日(木)

〈会場〉秋田県総合教育センター



開催に当たり、次のとおり発表者を募集しています。

なお、新型コロナウイルス感染防止対策のため、今年度も1日のみの開催とします。また、感染状況により開催方法を変更する場合がありますので、予め御了承ください。

研究分野

- ① 学校運営
- ② 教科等指導(道徳、総合的な学習の時間、総合的な探究の時間、特別活動を含む)
- ③ 生徒指導
- ④ 情報教育
- ⑤ 特別支援教育
- ⑥ 就学前教育
- ⑦ ふるさと教育、キャリア教育
- ⑧ その他教育に関すること(環境教育等)

発表者

次のいずれかに該当する県内の幼稚園・保育所・認定こども園等、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教職員及び教育委員会・教育機関の職員を発表者とする研究発表を募集します。

- (1) 秋田県教育委員会から研究発表の要請を受け、所属長の承諾を得た方
- (2) 研究委嘱や指定、各地区の研究會等での発表者で、会長及び所属長の承諾を得た方
- (3) 秋田大学等における大学院派遣研修生及び修了した方で、発表を希望し所属長の承諾を得た方
- (4) 日本教育公務員弘済会等の研究論文募集に応募し入選された方で、発表を希望し所属長の承諾を得た方
- (5) 上記(1)から(4)以外で発表を希望し、所属長の推薦を得た方

発表形式

口頭発表による研究発表を募集します。教育現場での汎用性がある研究発表を基本とし、発表のまとめが「提案を基調とする内容」となるようにお願いします。

※ポスターセッション形式の発表については実施しません。

発表の申込み

発表を希望する方は、所属長の承諾・推薦を得て、所定の様式により電子メールで申し込んでください。発表申込書は、当センターウェブサイトの「教育研究発表会」のページからダウンロードしてください。

◆ 発表申込期間 **令和4年9月1日(木)～10月31日(月)**

◆ 発表申込み・問合せ先 秋田県総合教育センター
教科・研究班 阿部 智博・藤谷 寛

TEL:018-873-7203 E-mail:happyyou@akita-c.ed.jp



教育研究発表会参加申込みの受付は、12月上旬からです

参加の申込方法等を記した「第二次案内」を、12月上旬に当センターウェブサイトに掲載し、参加の申込みを受け付けますので、今しばらくお待ちください。なお、上記発表の他、「センター研究発表」や「講演」など、参加者が様々な教育実践や教育研究に触れたり、実践を紹介し合ったりする内容となっています。多数の参加をお待ちしております。

★詳しくは、当センターウェブサイトのトップページ(<https://www.akita-c.ed.jp/>)にある新着情報の(2022.09.01)「第37回秋田県教育研究発表会」のお知らせ→「第37回 秋田県教育研究発表会 第一次案内」を御覧ください。

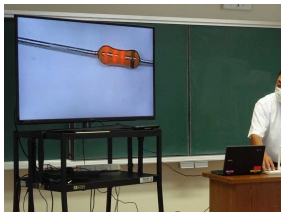
ICTを活用した指導方法についての研修

当センターでは、各教科指導におけるICTの効果的な活用に関する研修の充実に努めています。教材・教具や学習ツールの一つとしてICTを活用した事例等を紹介し、受講者自身に体験してもらうことで、実践的な研修となるよう工夫しました。次にその一部を紹介します。

A-7 実践的指導力習得研修講座（高等学校2年目）Ⅱ

模擬授業でのChromebookの活用

受講者の先生方が1人1台配付されたChromebookを模擬授業の中で自由に活用しました。Classroomを作成しての情報共有、YouTubeの視聴、書画カメラを活用した教材の提示等、教科の特質に応じた活用方法などに触れ、ICTの効果的な活用について考えを深めることができました。



<受講者の声>

- ・人前で話すことが苦手な生徒でも、タブレットを通して答えることで、参加意識を高めることができると感じた。
- ・資料提示等では、電子黒板と板書のそれぞれのよさを生かして活用していきたい。

B-3 図画工作科の授業改善

アプリを利用したコマ撮り動画の作成

小学校の先生方が簡単なアニメーションづくりを体験しました。工作作品や文具等を自分の思いに合わせて動かすために、向きや置く場所等を工夫しながら一コマずつ写真を撮影しました。造形的な視点を基に、何度でもやり直し、様々に試すことが、表現力を高めることにつながります。



<受講者の声>

- ・目的に応じてICTを活用することで普段とは違った視点で思考することができた。
- ・子どもたちが興味をもって取り組むことができそうだ。低学年でもできる範囲で実践してみたい。

C-5 生徒が主体的に学ぶ中学校社会科の授業づくり

ロイロノートを活用した教材づくり

生徒が主体的に学ぶための、ICTを効果的に活用した授業計画を構想する演習を実施し、構想を基に教材を作成して受講者同士で共有し合いました。

<受講者の声>

- ・他の先生のアイデアを見て、ICTの使い方や活用方法、効果は無限大だと思った。生徒も教師も楽しい授業づくりをしていきたい。
- ・ロイロノートの具体的な使い方が分かった。また、どのように活用すれば主体的・対話的で深い学びに結び付くのか、ヒントを得ることができたので授業に生かしていきたい。



C-6 児童が主体的・対話的に学ぶ小学校算数科の授業づくり

授業支援アプリ機能の活用による集合型オンライン研修

受講者同士をZoomでつなぎ、ブレイクアウトルーム内で互いに10分程度のミニ授業を提示しました。その中でプレゼンテーションソフトや写真撮影機能などを体験しました。

<受講者の声>

- ・カメラやスライドといった基本的な機能だけでも、十分に他の先生方とコミュニケーションがとれて感動した。
- ・資料提示の仕方や、見えそうな単元などを知ることができた。
- ・効果的なICTの活用場面を検討し、実践を積み重ねていきたい。



第2回公開講演より

8月19日（金）に公開講演「インクルーシブ教育時代に押さえる授業づくりのポイント～読み書きに困難のある子どもの早期発見と理解～」をオンラインで開催しました。講師の宮城学院女子大学教育学部の梅田真理教授から、読み書きに困難のある子どもの背景要因や困り感、対応等について御講話いただきました。疑似体験を通して子どもの抱える困難や支援の手立ての有効性を実感することができ、これからの支援の在り方について一人一人が考え、学びを深める貴重な機会となりました。

公開講演は総合教育センターで行う研修講座の中から、受講者以外の教育関係者の方々にも優れた英知に直接触れる場を提供することを目的に実施しております。今年度の参加受付は締め切りましたが、是非来年度の参加を御検討ください。

参加者のアンケートから

- ・これまで効果的といわれてきた指導方法を全教員で共有するとともに、その子にとって何が効果的なのかを追究していきたいと思います。
- ・読み書き等の仕組みや困難さの要因、具体的な支援方法について分かりやすくお話しいただき、普段の学習支援の際に生かしていきたいと思います。

「星の観察教室」中止について

8月5日（金）に開催を予定していた「星の観察教室」は、秋田県内での新型コロナウイルス感染症の急激な拡大により、残念ながら中止とさせていただきます。たくさんのお申込みに感謝申し上げます。中止により御迷惑をお掛けしましたこととお詫び申し上げます。12月には「プラネタリウム教室」の開催を予定していますので是非御参加ください。詳細は当センターウェブサイトにてお知らせいたします。